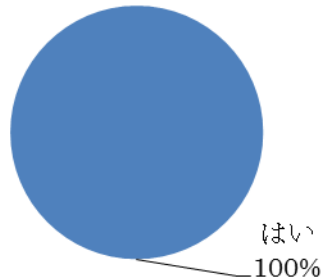


公開質問状回答書グラフ表

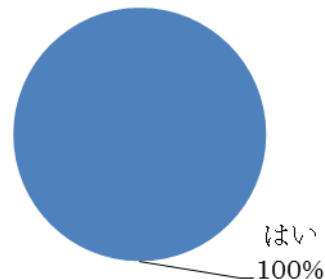
1. あなたは「新座市男女共同参画推進条例」をご存知ですか？

はい	15人
いいえ	0人
合計	15人



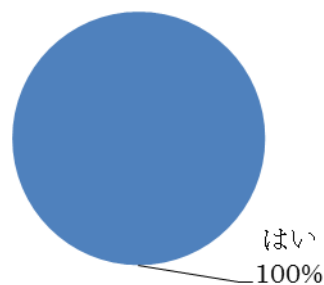
2. 新座市の「男女共同参画都市」宣言をご存知ですか？

はい	15人
いいえ	0人
合計	15人



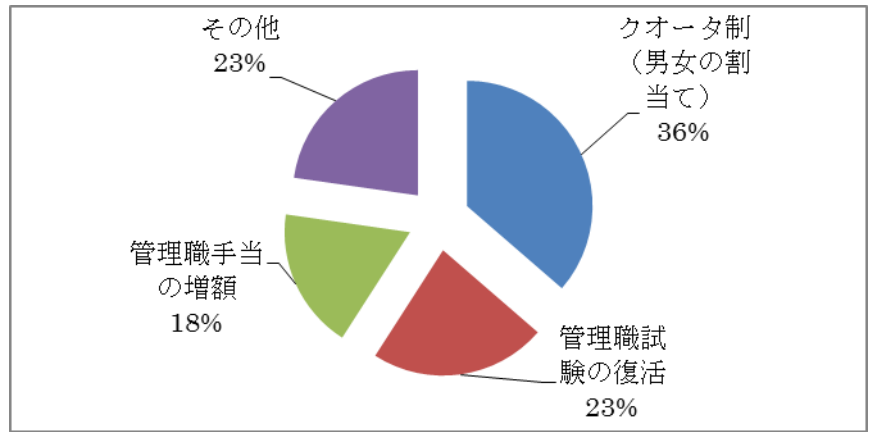
3. あなたは「第2次にいざ男女共同参画プラン」をご存知ですか？

はい	15人
いいえ	0人
合計	15人



4. 新座市は各種審議会等への女性委員の登用（H27.4.1 現在 33.0%）や、女性管理職比率の達成目標を 35%と掲げています。あなたは目標達成のためにはどのような施策が必要だと思いますか？（2つ選んでください）

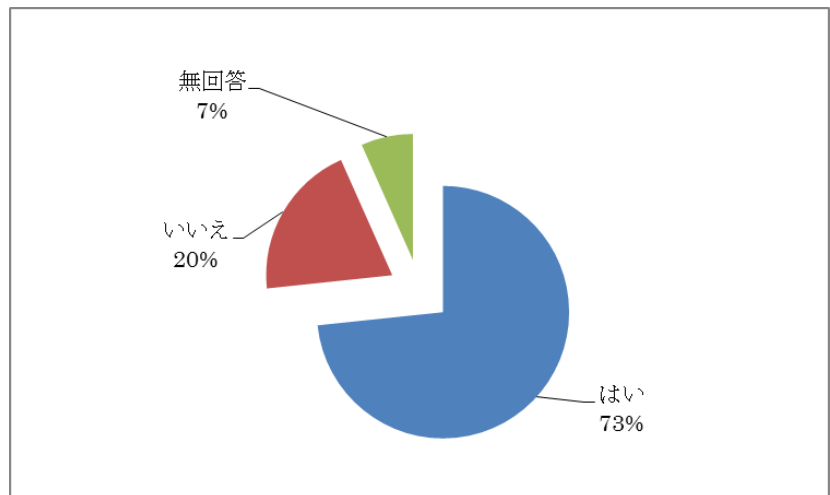
クォータ制（男女の割当て）	8人
管理職試験の復活	5人
管理職手当の増額	4人
その他	5人
合計	22



- その他
- ・男女同数の新規採用
 - ・職員（部下）の無記名投票
 - ・ワークライフ・バランス
 - ・審議会等委員への登用は、委員構成の見直し、公募の拡大などが必要と考えます。

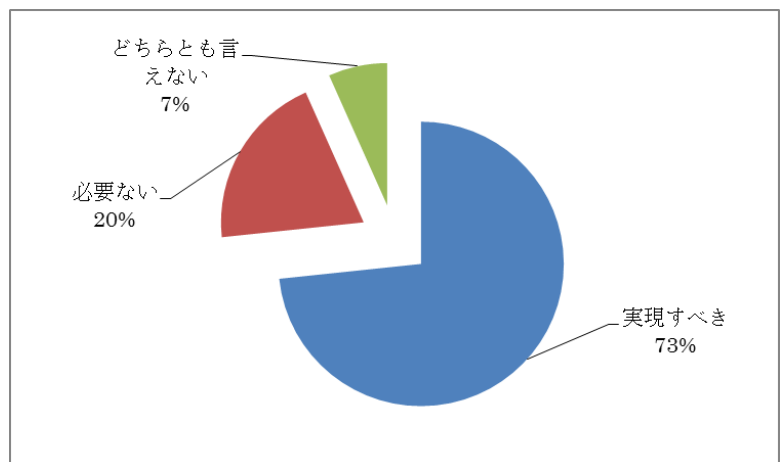
5-①新座市議会が「選択的夫婦別姓」制度の早期実現について、国へ意見書を提出していることをご存知ですか？

はい	11人
いいえ	3人
無回答	1人
合計	15人



5-②「選択的夫婦別姓」について、あなたはどのように思いますか？

実現すべき	11人
必要ない	3人
どちらとも言えない	1人
合計	15人

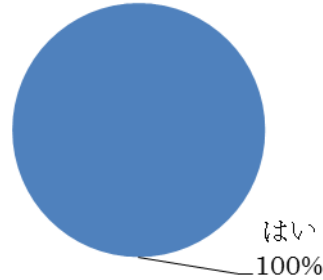


- 理由
- 必要に足る事情があるのであれば選択されてはどうか
 - 必要に足る事情があるのであれば選択されてはどうか
 - 個人の尊厳があり、姓も自由に選択できるべきだとかんがえるので。
 - 自分の姓に誇りや思い入れがあるのは男女に関係ないから。

6. 新座市では「職員の旧姓使用」が行われていますがご存知ですか？

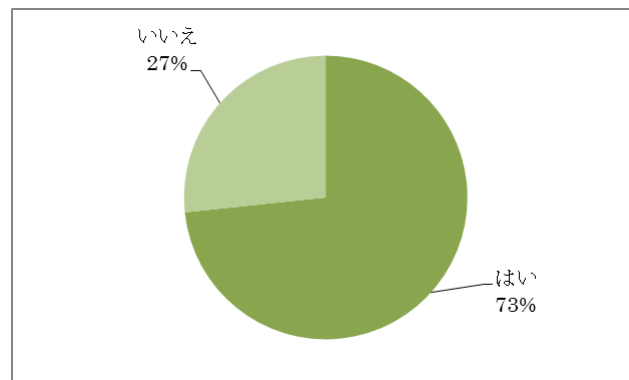
(H27.12.1 現在 52 人)

はい	15 人
いいえ	0 人
合計	15 人

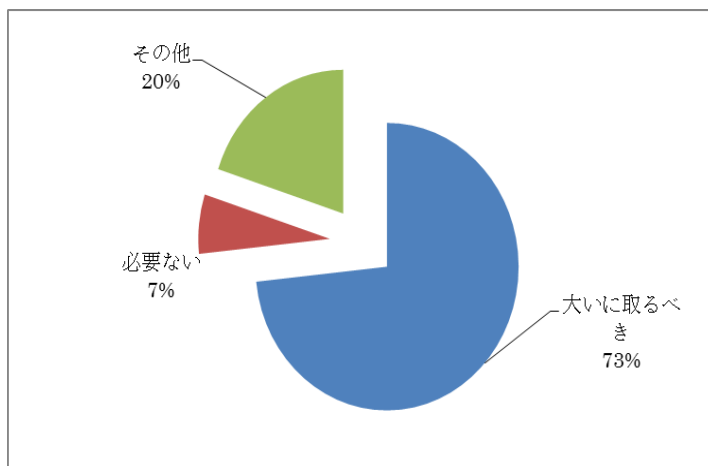


7. 新座市が性同一性障害の方を配慮して平成 14 年から「公文書の性別記載を廃止」しているのをご存知ですか？

はい	11 人
いいえ	4 人
合計	15 人



8. 「男性職員の育児休業」についてどう思いますか？（これまで延べ7人）

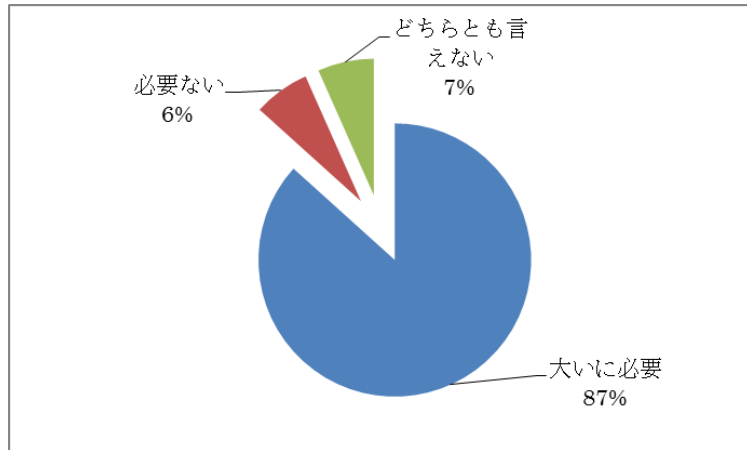


大いに取るべき	11 人
必要ない	1 人
その他	3 人
合計	15 人

- その他
- ・必要であれば取るべき
 - ・家庭の状況
 - ・状況によります

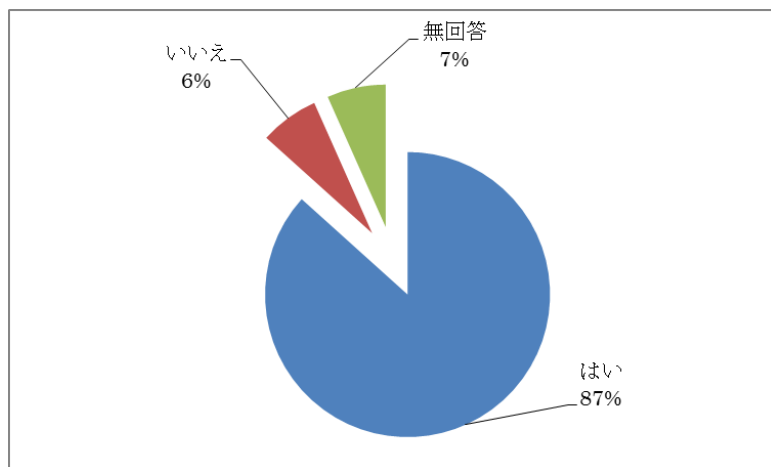
9. ワークライフバランス（仕事と生活の調和）をどう思いますか？

大いに必要	13人
必要ない	1人
どちらとも言えない	1人
合計	15人



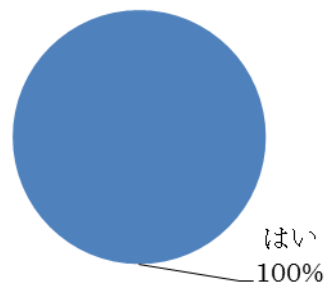
10. 「ほっと ぷらざ」にある新座市男女共同参画推進センターが主催する事業をご存知ですか？

はい	13人
いいえ	1人
無回答	1人
合計	15人



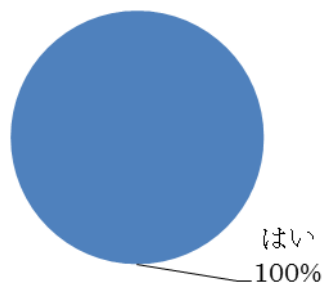
11. DV（「新座市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」）をご存知ですか？

はい	15人
いいえ	0人
合計	15人



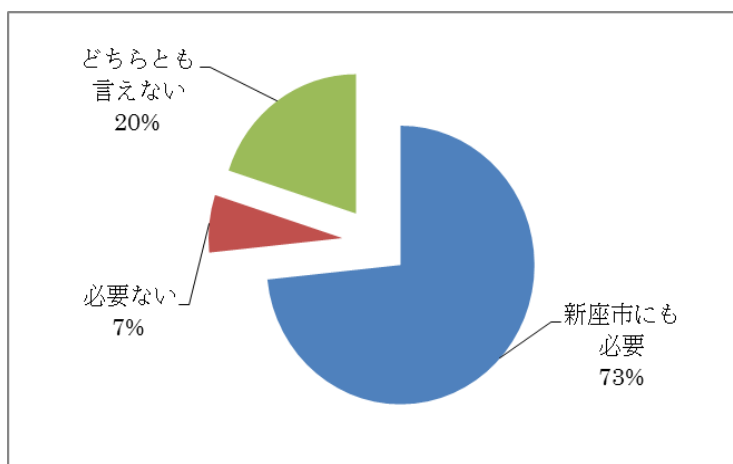
1 2 新座市が行っている「女性困りごと相談室」をご存知ですか？

はい	15人
いいえ	0人
合計	15人



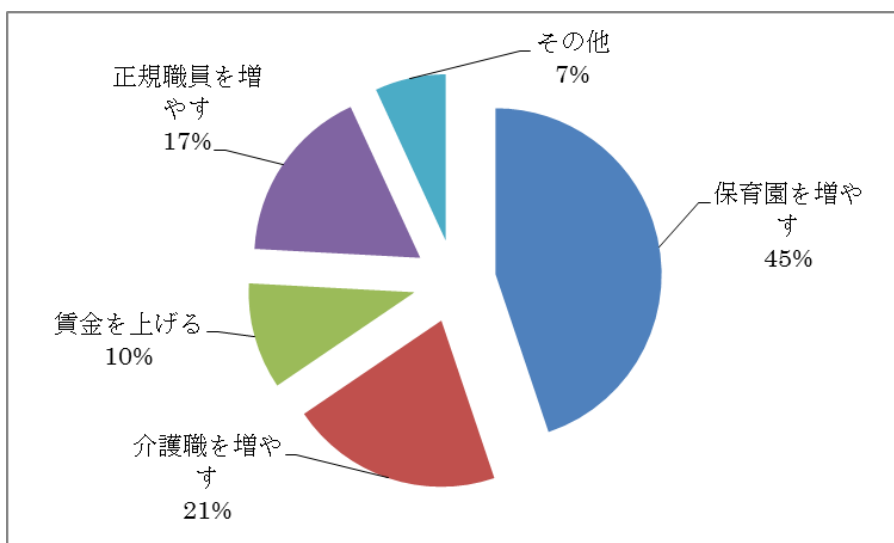
1 3. 渋谷区などの「同性パートナーシップ条例」についてどう思いますか？

新座市にも必要	11人
必要ない	1人
どちらとも言えない	3人
合計	15人



1 4. 女性の活躍のために何が必要だと思いますか？（2つ選んでください）

保育園を増やす	13人
介護職を増やす	6人
賃金を上げる	3人
正規職員を増やす	5人
その他	2人
合計	29



その他 ・子育てしやすい職場環境づくり ・意識改革

15. その他、男女共同参画社会の実現のために、お考えがありましたらお聞かせください。

- 男性が子育てを含む「家事」を我が事と考え実行する。「我が事」とは「自分から工夫してやる」こと
- 能力によって正当に評価されるべきであり、それは老若男女問わないと考えます。
- 雇用における男女の賃金格差の是正のための法整備、又男女とも安心して子育てしながら働き続けられるように長時間労働の改善、公的保育の充実が急務です。特に母子家庭の貧困は先進国中最悪であり、児童手当などの拡充をすべきです。
- 女性が活躍できるための社会基盤（保育園、育休制度など）の整備をすすめたいと思います。
- 中学校の理科の授業で“地球上に人種は1種類しかない”と教えてきました。ホモ・サピエンスという種しか存在しない。勿論男も女もホモ・サピエンス。同じ種だから（人種・男女）差別をする人間は無知なのだと教えてきました。学校や家庭での教育が大切なのだと思います。
- ワークライフ・バランスの拡充をさらに位置づけていくこと。
- 男性の理解。男の方がもっと勉強して賢くならなければならないと思います。
- 学校教育でのとりくみが重要。出産、育児の協働、生活のゆとり。
- 地域の活動、市民活動などにおける女性リーダーの育成も重要と考えます。女性の人材情報の整備をすすめ、ネットワークづくりを行うことに取り組みたいと考えております。